

区立保育園の「再編成計画」 目黒区は保護者と現場の声を しっかりと聞くべきだ

- 目黒区が推進している「区立保育園民営化計画」に、私は大きな疑問がある。
- この「民営化計画」は、現16園ある区立保育園のうち6園を次々と民営化していくという「再編成計画」である。
- この目黒区の区立保育園「再編成計画」の動機そのものに疑問があるわけではありません。生活環境や時代の変化に対応するためには、どのような行政政策でも「再編成」が必要です。それは当然の成熟進化だと考えます。
- しかし、目黒区は区立保育園を「区全体の保育の質を向上させる中心拠点」と定義するだけで、その理想とする考え方や具体策を十分に説明していない。区民の意見を聞く機会を形式的にもうけているが、区民の声を「再編成計画」に反映していない。まるで行政の数値目標を達成することが区役所の仕事だと言わんばかりの姿勢に見える。
- そう思うのは私だけではない。「区立保育園をなくさないで!」と異議を申し立てる区民のみなさんの草根運動は、大きな輪になろうとしている。
- 目黒区は「再編成計画」について、保育の現場の人たちや保護者たち区民と、しっかりと対話をする場をつくるべきだ。このままいけば対立や分断を深め、行政判断を誤ることになりかねない。
- 「保育の質の向上」は、地域社会の生活の質を向上させるばかりか、近未来の社会全体を決定する重要な政策である。目黒区の福祉政策は定評がある。保育政策についても理想をかげ、その理想を実現する「再編成計画」に練り上げるべきだ。

私たちが望む社会をつくるために、私はまず自分たちの目の前にある小さな社会すなわち目黒区のコミュニティを生活しやすい地域にしていこうと思いました。人と人が、わかり合話し合って共に生きるコミュニティがあれば、これほど頼りになる地域社会はありません。私が6年前に区議会議員選挙に立候補した動機は、そのようなコミュニティづくりのためでした。



活動を開始すれば、ひとりひとりが仲間が集まり、他の地域のコミュニティと知り合い、仲間が拡大していきました。共に生きる社会をつくるという仲間は、すぐ隣にいます。今、思いました。今回の野党選挙共闘は、その全国版でしょう。共に生きる社会をつくることを考える国政政党が強く連帯したのです。

残念ながら衆議院選挙では政権交代ができなかったけれど、来年2022年には参議院選挙があります。一歩後退・二歩前進!

まだ野党選挙共闘は始まったばかりです。粘り強い活動を持続し前進しようではありませんか!

野党選挙共闘を支持してくださった、すべて有権者のみなさまへ感謝しお礼を申し上げます。

共に選挙活動をした私の後援会「かな力ナ会」の仲間みなさん、おつかれさまでした。大きな活動成果を得ることができましたね。そして目黒区を本拠地とする立憲民主党公認候補の手塚よしおさんが選挙区で当選を果たしたことに感謝しお礼を申し上げます。

私たちが望む「共に生きる社会」をつくりましょう!

こんにちは!

目黒区議会議員

金井ひろし です。

District Administration Report & Activity Report



区政・活動報告レポート

No.10 2021 冬号

ADDRESS 〒152-0032

東京都目黒区平町1-21-20-303

TEL : 080-5195-2909

E-mail : kanai.hi64@gmail.com

Official Web Site : kanai-hi64.com



facebook



twitter



Official Web Site



金井ひろしE-mail

めざせ! 政権交代! 一歩後退・二歩前進!
私たちの望む「共に生きる」社会をつくりましょう

10月の衆議院選挙で立憲民主党が先頭に立った野党選挙共闘が、大きく前進しましたが、残念ながら政権交代を実現するまでの議席を獲得できませんでした。

しかし、私たちは、今回の衆議院選挙を通じて、政権交代が夢ではなく、現実的な政治選択になっていることを実感できました。

それはたとえば「消費税5%」「最低賃金1500円」の社会をつくる土台を、わたしたちが獲得したことだと思います。

それこそが「共に生きる」社会をつくる第一歩です。政権政府が力づくで、国民を敵と味方に分断し、一部の

富裕層や大企業へ特別な利益が分配される社会は、分断と差別で支配される社会であって、全地球的な平和な社会ではありません。

わたしたちが望む社会は、誰もが差別されず、誰もが分断されず、誰もが人として尊重される社会です。敵と味方が憎み合って勝ち負けをする社会ではなく、誰もが参加できる議論によって成長してゆく社会です。

人類が地球自然環境を限度いっぱいまで使ってしまった時代になりました。人類は地球自然環境と共生していく社会をめざす必要があります。そうでなければ次世代へ、人類の時代を引き継いでいくことができないからです。

**めぐるコミュニティから
政権交代の輪をひろげよう**

私たちの望む社会をつくるために、私はまず自分たちの目の前にある小さな社会すなわち目黒区のコミュニティを生活しやすい地域にしていこうと思いました。人と人が、わかり合話し合って共に生きるコミュニティがあれば、これほど頼りになる地域社会はありません。私が6年前に区議会議員選挙に立候補した動機は、そのようなコミュニティづくりのためでした。

ひとりひとりが仲間が集まり、他の地域のコミュニティと知り合い、仲間が拡大していきました。共に生きる社会をつくるという仲間は、すぐ隣にいます。今、思いました。今回の野党選挙共闘は、その全国版でしょう。共に生きる社会をつくることを考える国政政党が強く連帯したのです。

残念ながら衆議院選挙では政権交代ができなかったけれど、来年2022年には参議院選挙があります。一歩後退・二歩前進!

まだ野党選挙共闘は始まったばかりです。粘り強い活動を持続し前進しようではありませんか!

野党選挙共闘を支持してくださった、すべて有権者のみなさまへ感謝しお礼を申し上げます。

共に選挙活動をした私の後援会「かな力ナ会」の仲間みなさん、おつかれさまでした。大きな活動成果を得ることができましたね。そして目黒区を本拠地とする立憲民主党公認候補の手塚よしおさんが選挙区で当選を果たしたことに感謝しお礼を申し上げます。

私たちが望む「共に生きる社会」をつくりましょう!

誰もがともに学び、育ち、「共に生きる!」

Create a society where everyone can learn and grow together and realize "unity in diversity".

누구나 같이 배우고, 성장하고, '같이 사는 세상!' / 全员互助互学, 共同成长, 实现“共生向荣”

立憲民主党



区議会報告 9月の第3回定例会

人権と平和について集中的に質問しました

コロナ禍対策・区立学校の特別支援員・障害者通所施設・福祉作業所・平和特派員・観光・防犯カメラ

2021年度の目黒区議会・第3回定例会が、9月におこなわれました。

4日間の本会議と7日間の決算特別委員会です。

本会議では一般質問に立ち「目黒区の新型コロナウイルス対策の入念な確認」と「区立学校の特別支援員の予算削減」について追及しました。

決算特別委員会では「障害者の通所施設の利用時間外活動支援」「福祉作業所の工賃アップ」「コロナ禍で2年間停止している小中学生の広島への平和特派員」「観光まちづくりの推進」「区内の防犯カメラの合理的設置」「区民農



本会議の一般質問は登壇して質問します



決算特別委員会は自席から質問します

園のあり方」の6点を質問しました。

本会議一般質問の「目黒区のコロナ対策」は、区内の障害者施設で発生したクラスターで3名が死亡する「事件」を念頭に置いた質問でした。

これはDMAT（ディーマット）災害派遣医療チームが出勤したほどのクラスター事件だったので、二度とあってはならないと思い、議会において念入りに検証しておいた方がよいと考えたからです。

人権が切り崩されるときは、障害者などの少数派から犠牲にされることを忘れてはなりません。

また、予算特別委員会の「広島への平和特派員」については、継続を確約せると共に、返還50周年を迎える沖縄を加えたらどうかと提案しました。

先のアジアと太平洋の戦争で国内激戦地となつて軍と民間人共に多くの犠牲者を出した沖縄県は、今日もお米軍基地問題を押しつけられる県であり、平和を考える上で貴重な経験になると考えたからです。

しかしながら、この提案については「来年度検討していく」と区役所は回答したので、今後の推移を見守ります。

私の質問の仕方に訴求力がないのかもしれない、もっと工夫が必要なのではないでしょうか。

平和と人権は、人びとの生活の基本中の基本ですから、今後もしっかりと質問をしていきたいと考えています。

目黒区のホームページでは区議会の中継録画を配信しています。お時間がありましたら、ぜひご覧ください。



第9回 区政報告会 & タウンミーティング

25人のみなさんが
ZOOMリモートとリアルで参加！
大いに盛り上がり時間が足りませんでした！



その日、8月29日は、東京で新型コロナウイルスの感染者が3081人も確認された日曜日でした。重症者は296人で、第5波のピークだった夏の終わりでした。多くの反対の声を無視して強行された東京パラリンピックが開催中だった。

私たち「かなカナ会」は8回目の「金井ひろし区政報告会&タウンミーティング」を鷹番住区センターを拠点にして開催しました。

コロナ感染対策として、拠点会場はマスク着用、手指消毒、人数制限を厳守し、同様の対策でサテライト会場を設け、もちろんリモート参加を積極的に推進しての開催です。

この日に集まった区民のみなさんは25人を超え、コロナ禍中では最高の参加人数になりました。初めて参加してくださった方も多くいらっしゃいました。信頼しきれない行政と氾濫する情報に疲れたみなさんが、コミュニティのつながりと確かな生活情報を積極的に求めて集まられたのでしょうか。



コロナ禍で私たちの社会の、弱いところ不安なところが、あぶりだされた現在において、生活情報を得るために、みなさんが行動的になっている結果だと感じました。

いつものように私が区政報告をおこない、駆けつけくれた都議会議員の西崎つばささんと衆議院議員の手塚よしおさんが、それぞれ都政と国政の報告をしました。

参加されたみなさんから、多くのご質問やご意見をいただき、時間的な制限のなかで精一杯お答えしました。みなさんとの対話は何よりも大切なので、今後は時間の配分を工夫したり、できれば対話集会を企画していきたいと思っています。

次回の区政報告会は12月12日（日曜）に予定しております。詳しくは4ページでご案内しております。

区民のみなさんの積極的なご参加をお待ちしております。リモートでもリアルでも、顔と顔を合わせて集いましょう！

支え合うことを安心に。 目黒区議会議員 金井ひろし

find strength in compassion of others and ensure security by supporting one another.

我们以多样性为荣，合力前进，互为股肱，安心宜居。

立憲民主党



区民のみなさん、ありがとうございます。10月31日投票の2021年衆議院選挙において、私たちの目黒・世田谷・東京5区で立候補した立憲民主党公認候補の手塚よしおさんが、ライバルの現職大臣・自民党公認候補を破って、当選させていただきました。『私たちの生活をしっかり立て直す』と主張した手塚よしおさんの得票は11万1246票で、ライバルに5404票の差をつけました。これぞ「熱き1票」のパワーです。

この選挙戦を共に闘った「かなカナ会」のみなさん、お疲れさまでした。いつもながらの多種多様な生き生きとした活動で勝利を獲得できました。ありがとうございます。

今後とも粘り強い活動を持続し、共に生きる差別のない社会建設へ、一歩ずつ着実に前進していきたいと思っています！



2021 衆議院選挙 激戦を勝ち抜く！ 東京5区 手塚よしおさん当選 みなさんの「熱き1票」に感謝します



新規連載① 学生インターンに6000字アンケート

「選択的夫婦別姓制度に賛成ですか、反対ですか。その理由をおしえてください」

ゆうきくんの回答

私は選択的夫婦別姓制度に賛成です。近年の日本では女性の社会進出が進んでいます。働く女性が増えていく中、結婚して苗字が変わると仕事上でも不便が生じてしまいます。名刺や印鑑などをまた作り直さなければならぬのです。婿入りという結婚もありますが、一般的に嫁入り結婚のほうが日本は多く、このような苦勞を結婚する多くの女性が負うのは、男女平等の観点からみても改善しなければならぬことだと思います。

また、私の意見ではありますが、今の日本がなぜ結婚後の苗字変更にとどまるのか、わからないというのも選択的夫婦別姓に賛成する理由の一つです。

私が高校時代に選択的夫婦別姓について扱う授業がありました。その際、私は「同じにしたいけれどもいい」と思いつき、したくないならしなくていい」と考えていました。「苗字が一緒だから仲がいい、違うから仲が悪い」というわけでもないと思うし、そのぐらいのことでは仲が悪くなるような人とは、そもそも結婚まで行きたくない」と考えていたからです。

また、ほかの人の意見で、「家族の一体感がなくなる」という意見がありました。しかしこの制度はあくまでも「選択的」であり、同じ苗字にしたい人はそれが可能なのです。ですから一体感の問題は選択的夫婦別姓に関してはあまり問題ではないのだと思います。

選択的夫婦別姓制度が日本にできた場合、女性の社会進出、男女平等がより進んでいき、女性が生きやすい社会が実現されていくと思います。よりよい社会を築くためにも、私は選択的夫婦別姓制度に賛成です。

いきなり質問して緊張させてしまい、模範回答になったかもしれませんが、次回は、どんな質問をしたらいでしょうか。アイデアがあったら、金井までご連絡ください。



ペンネーム：ノゾミ
大学2年生（19歳）

年2回、議員の仕事現場を体験することで政治を学ぶ学生インターンを受け入れています。今年の夏から初秋まで、2人の学生インターンがやってきたので、さっそく質問しました。

ノゾミさんの回答

私は選択的夫婦別姓制度について賛成です。このように考える理由は二つ程あります。まず一つ目として、選択的夫婦別姓制度は女性の社会進出や男女平等社会に大きく貢献することができるということです。

では「女性の社会進出とはどういったことか」と聞かれたとき、多くの人が「女性がより多くの場面で活躍できること」を答えると思います。つまり、それが実現できる労働体制の整備が必要になります。その一つの方法として、入籍後も女性が旧姓を名乗ることで労働での負担の軽減させることが適当だと私は考えます。

もう一つの理由として、現代社会におけるの男尊女卑の考え方を取り除くべきだと私は考えます。

女性の意見や考えはこれまで以上に取入れられるべきであり、男女平等社会を目指すことが必要です。そしてその発信は国の中枢である議会から適切だと考えます。

しかしながら現状を見てみると、圧倒的に女性議員は少なく、過去には議会での女性への暴言やセクハラが問題となり報道されたこともありました。

このことから「政治に参加する女性が少ない」という認識だけでなく、「そもそも女性の政治参加を認める者が目立っていないため、今後はその者たちの積極的な行動が必要である」という未来に変化が起こせる認識を直す必要があると思います。

このように「女性の社会進出」「男女平等社会の実現」という二つの考えから、選択的夫婦別姓制度を積極的に取り入れるべきだと考えます。



ペンネーム：ゆうき
大学1年生（18歳）

私は選択的夫婦別姓制度に賛成です。近年の日本では女性の社会進出が進んでいます。働く女性が増えていく中、結婚して苗字が変わると仕事上でも不便が生じてしまいます。名刺や印鑑などをまた作り直さなければならぬのです。婿入りという結婚もありますが、一般的に嫁入り結婚のほうが日本は多く、このような苦勞を結婚する多くの女性が負うのは、男女平等の観点からみても改善しなければならぬことだと思います。

また、私の意見ではありますが、今の日本がなぜ結婚後の苗字変更にとどまるのか、わからないというのも選択的夫婦別姓に賛成する理由の一つです。

私が高校時代に選択的夫婦別姓について扱う授業がありました。その際、私は「同じにしたいけれどもいい」と思いつき、したくないならしなくていい」と考えていました。「苗字が一緒だから仲がいい、違うから仲が悪い」というわけでもないと思うし、そのぐらいのことでは仲が悪くなるような人とは、そもそも結婚まで行きたくない」と考えていたからです。

また、ほかの人の意見で、「家族の一体感がなくなる」という意見がありました。しかしこの制度はあくまでも「選択的」であり、同じ苗字にしたい人はそれが可能なのです。ですから一体感の問題は選択的夫婦別姓に関してはあまり問題ではないのだと思います。

選択的夫婦別姓制度が日本にできた場合、女性の社会進出、男女平等がより進んでいき、女性が生きやすい社会が実現されていくと思います。よりよい社会を築くためにも、私は選択的夫婦別姓制度に賛成です。

いきなり質問して緊張させてしまい、模範回答になったかもしれませんが、次回は、どんな質問をしたらいでしょうか。アイデアがあったら、金井までご連絡ください。



多様性を誇りに。わかちあうことを力に。
Create a society where everyone can pride themselves on living in a diverse society,
다양성을 자랑으로. 서로 나눔을 힘으로. 서로 도와주는것으로 안심을

地域の仲間と キャンプを楽しみました

「自由が丘子ども会」のスピノフの分会「自由が丘アウトドア〜ず」が企画した清里キャンプに参加しました。

毎度の事ながら、私は炊事担当です。メインのご飯はパエリアと栗ご飯を作りました。もちろん定番のBBQステーキも楽しめました。

美しい風景と新鮮な空気が調味料です。満天の星空が私たちを迎えてくれました。地域の親しい仲間と野外で過ごすキャンプは格別の楽しい時間を与えてくれました。



区民農園制度を改革して 多くの人に楽しんでもらいたい



2か所ある区立の区民農園は「1区画 8㎡・117区画・利用料年額 5,500円」で当選倍率約3倍です。民間のシェア畑は区内に4か所あり「1区画 3㎡・828区画・利用料月額 14,000円」で、いつも満員です。多くの区民のみささんが畑仕事を楽しんでみたいと思っているのに、この利用料の大きな差は何とかならないものなのか。9月の区議会・決算特別委員会で私は質問してみると、さっそくアンケート調査が始まるなど展望が開けてきました。一刻を争う課題ではないけれど、じっくりと取り組んでみたい改革課題です。

毎週・水曜日・朝・都立大学駅前 辻立ちを継続・再開しました！

10月の衆議院選挙中は、公職選挙法の規則で辻立ちが制限されます。その辻立ちを11月から再開しました。

通勤・通学・散歩のみなさんへ、ご挨拶し、区議会議員活動を報告して、時事ネタを織り込み、私の意見を語っています。通勤・通学のピークが抜けると、今度は保育園へ送る保護者のみなさんが増え、朝の駅頭は刻々と変化します。

雨や風が強い朝と、どうしても都合がつかないときや体調がすぐれないとき、祝日は休ませていただきます。

ご意見やご質問があれば、どうぞお気軽にお声がけください。



マチズモ(男性優位主義)を 削り取れ

日本は「ジェンダー・ギャップ指数」が世界120位だそうである。先進国で断トツのビリ。お隣の韓国や中国、ロシアよりも下位のマチズモの国である。

たしかに今回の衆院選でも女性候補者は20%以下で「日本版パリテ法」などあっても無きが如し。その救いがたい現実社会を、ドゥマゴ文学賞ライターの武田睦秋が、橋本治風のお喋り文体で分析し、問題提起していく。読めば共感するが、しかし日本の文化風土は真っ暗闇で、夜明けは遠い。

書名：『マチズモを削り取れ』
著者：武田睦秋 発行：集英社
定価：1,760円(税込)
仕様：ソフトカバー／312ページ
ISBN：978-4-08-771749-5



趣味の海釣りは、 食卓を豊かにする

海釣りが好きです。時間をみつめてぶらりと神奈川や千葉の海へ出かけて釣り船に乗ります。

今回は外房へ足を運び、ヒラメ、マハタ、カンパチを釣り上げる「大漁」になりました。夕食にはマハタをアクアパッツアに料理して舌鼓を打ちました。新鮮な魚はやはり旨いです。

海釣りは、いつも大漁とは限らないのですが、海で遊んでいるだけで私は楽しくリフレッシュします。釣果があるに越したことはないのですが、人生は思い通りにいかないものです。チャレンジなくして豊かな食卓なしです。



校庭に子どもたちの 歓声が帰ってきた



目黒では毎年、近隣の学童が合同で「連スポ(連合スポーツ大会)」を秋に開催していました。しかし残念ながら、今年もコロナ禍で「連スポ」は2年連続の中止になりました。

そこで緑が丘児童館学童保育クラブは単独で、少数参加の「スポーツ大会」を開催したのです。午前中だけの時短開催で、競技種目も観客も絞り込み、ソーシャルディスタンスを確保する小規模開催計画で、学校や関係各位の協力をとりつけて開催に踏み切りました。校庭に子どもたちの歓声が響き渡ったとき、安寧な日常生活が戻ってきたと思い、感動して目がうるみました。平和というのは、こういうことですね。

12/12
日曜日

金井ひろし 区政報告会 & タウンミーティング 第9回開催！

- 多くのみなさんへご参加を呼びかけます。
- 区政の現場をわかりやすくご報告いたします。
- 区民のみなさんのご意見とご要望をお伝えください。
- リアル会場とリモート ZOOM 会場のハイブリッド開催でお待ちしております。
- 衆議院議員の手塚よしおさん、都議会議員の西崎つばささんも参加されます。

- リモート ZOOM 参加をご希望の方は「金井ひろし QRコード」あるいは「金井ひろし Eメールアドレス: kanai.hi64@gmail.com」へお申し込みください。「ZOOMご招待」を返信いたします。
- リアル会場へ参加される方には、手洗いもしくは手指の消毒、マスク着用をお願いいたします。
- リアル会場は、手指の消毒用アルコールを用意し、密を避ける椅子の配置、窓開け換気をいたします。

日時：2021年12月12日(日曜日) 午後2:00から午後4:00まで。参加費無料。
リアル会場：鷹番住区センター 目黒区鷹番3-17-20 (東急東横線・学芸大学駅下車・徒歩5分)
電話：03-3715-9231

区立保育園の再編成など、子育て世代のみなさんに密接な区政を報告いたします。



こんにちは！金井ひろしです。

区政・活動報告レポート No.10 2021年 冬号 12月10日発行 (通巻第10号 / 第3巻第4号)
編集発行人：金井ひろし 〒152-0032 東京都目黒区平町 1-21-20-303
TEL：080-5195-2909 E-mail：kanai.hi64@gmail.com



金井ひろしQRコード

区立憲民主党